

第1・2学年＜国語科＞学習案内



国語科ではこんな学習をします



○学習のねらい

小学校の国語科では、日常生活において必要な「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと）」などの基礎的な内容を繰り返し学習し、「正確に理解し適切に表現する資質・能力（言語能力）」を育成することを重視しています。

○育てたい力

- ①日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようと態度を育てます。
- ②順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもととする態度を育てます。
- ③言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てます。

【1年】

【2年】

【主な学習内容】

- 1 話すこと・聞くことを大切にします。
- 2 進んで書くようにします。
- 3 教科書を何度も読みます。
- 4 練習を大切にします。

- 1 話すこと・聞くことを大切にします。
- 2 音読を繰り返します。
- 3 発表の機会を多く取り入れます。
- 4 練習を大切にします。

【評価のポイント】

【知識・技能】

ひらがなのすべてと、カタカナを読んだり書いたりすることができる。濁音、促音、長音、拗音の読み方と書き方、助詞の使い方が分かる。新出漢字 80 文字を読むことができる。

文字の形や筆順などを理解して、文字を正しく書くことができる。昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞き、楽しむことができる。

【思考・判断・表現】

① 話す・聞く能力

経験したことなどについて、順序を考えながら話すことができる。相手に応じた話し方で話すことができる。大事なことを落とさないで聞くことができる。

② 書く能力

経験したことや想像したことなどについて、順序がわかるように書くことができる。語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができる。

③ 読む能力

順序や場面の様子などに気付きながら読むことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

国語に対する関心をもち、話し合いをしようとする。楽しく書いたり、読書をしたりしようとする。

【知識・技能】

姿勢、口形などに注意して、はっきりとした発音で話すことができる。ひらがな、カタカナを読み、書くことができる。カタカナで書く語を、文や文章の中で使うことができる。長音、拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞の「は」「へ」及び「を」を文や文章の中で正しく使うことができる。句読点、「」の使い方を理解して、文章の中で使うことができる。新出漢字 160 字の読み、書きができる。昔話や神話・伝承などを紹介したり発表したりすることができる。

【思考・判断・表現】

① 話す・聞く能力

知らせたいことを選び、事柄の順序を考えながら相手にわかるように話すことができる。大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって、聞くことができる。

② 書く能力

相手や目的を考えながら、書くことができる。事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して、内容のまとまりが分かるように書くことができる。

③ 読む能力

場面の様子などについて、想像を広げながら読むことができる。文章の中の重要な語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読み、感想をもつことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

国語に対する関心をもち、進んで表現しようとする。身近な事柄について、課題に沿って話し合おうとする。読み物に興味をもち、読書しようとする。

ご家庭では以下の点について、特にご協力お願いいたします。

- ・子どもが楽しく音読できるよう、顔を見ながら、関心をもって聞いてあげてください。
- ・家庭と学校は子どもたちにとって最大の言語環境です。周りの人との会話から、自然と丁寧な言葉遣いを身につけていけるようにしていきましょう。
- ・漢字の定着には繰り返しは何より大切です。ノートやプリントに目を通してください。
- ・読書は心を豊かにします。本を読む習慣がつくように、ご家庭でも一緒に読書をしてください。読み聞かせも大変有効です。

第1・2学年〈算数科〉学習案内



算数科ではこんな学習をします



○学習のねらい

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する能力を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

○育てたい力

- ①数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力
- ②平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力
- ③身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力
- ④身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力

【主な学習内容】

学年	数と計算	図形	測定	データの活用
1年	なかまづくりとかず なんばんめ たしざん ひきざん (1桁, 簡単な2桁) 3つのかずのけいさん おおきいかず	どちらがながい どちらがひろい どちらがおおい (水かさ) なんじ なんじはん なんじなんぷん	かたちあそび (立体図形) かたちづくり (平面図形)	ずにかいて かんがえよう わかりやすく せいりしよう
2年	たし算とひき算の筆算 3, 4けたの数 かけ算 分数 計算のくふう	長方形と正方形 はこの形	長さ (cm, mm, m) 水のかさ (dL, L, mL) 時刻と時間	グラフとひょう

【評価のポイント】

学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1年	- 計算が確実にでき、それを使ったり、ものの大きさを比べたり、ものの形を調べたりすることができる。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、数の表し方や計算の意味、ものの形などについて分かる。	- 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考えることができる。 - 具体的な操作を通して形の構成を考えたり、量の大きさを比べたりすることができる。	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2年	- 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、数の意味と表し方や計算の意味、長さや体積の単位と意味、図形の意味などについて分かる。 - 計算が確実にでき、それを使ったり、ものの大きさを測ったり、ものの形を調べたりすることなどができる。	- 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて計算ができる。 - 平面図形の特徴を理解したり、身の回りにあるものを量の単位を用いて表現したりできる。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

ご家庭では以下の点について、特にご協力お願いいたします。

- 身近な数や量、図形などについて、ご家庭でも話題にするなど、生活の中で算数に関わるものへの興味や関心を高めてください。
- 宿題や家庭学習では、励ましたり、褒めたりして最後までやり遂げるよう見届けてください。
- 宿題の丸付けへのご協力をよろしくお願いいたします。

第1・2学年<生活科>学習案内



生活科ではこんな学習をします



○学習のねらい

- ①学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち、自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりする力を育てます。
- ②身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくしようとする態度を育てます。
- ③自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する力を育てます。

○育てたい力

二学年を通して九つの内容があります。具体的な活動や体験を通して学習していきます。

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|
| (1) 学校生活にかかわる活動 | (4) 公共物や公共施設の利用 | (7) 動植物の飼育・栽培 |
| (2) 家庭生活にかかわる活動 | (5) 身近な自然・季節の変化と生活 | (8) 生活や出来事の伝え合い |
| (3) 地域にかかわる活動 | (6) 自然や物を使った遊び | (9) 自分自身の成長 |

【主な学習内容】

【1年生】 飼育栽培活動（朝顔、虫とり等）
・なかよしいっぱいだいさくせん（学校探検等）
・春夏秋冬とびだせ、あそびたい（季節の遊び）
・みんなのこにこ大きくせん
（家族にかかわる学習）
・もうすぐみんな2年生（成長を確かめる学習）

【2年生】 飼育栽培活動（野菜、虫探し等）
・さあ、きょうから2年生（1年生との交流）
・まちをたんけん 大はっけん
・もっと もっと まちたんけん
（町探検、校外学習等）
・あそんでためしてくふうして
（身近な物を使った遊びの工夫、交流）
・広がれ わたし（成長を確かめる学習）

【評価のポイント】

- ①知識・技能
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけられたか。
- ②思考・判断・表現力等
身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようになったか。
- ③主体的に学習に取り組む態度
身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしているか。

ご家庭では以下の点について、特にご協力をお願いいたします。

【1年生】

- ・生活科の究極的な目標は「自立への基礎を養う」ことにあります。様々なことに意欲的に行動し、自信をもって活動できるような励ましをお願いします。
- ・家族の一員としての自覚をもてるように、日頃からお家のお手伝いを進んでできるようにしてください。
- ・通学路探検等、保護者の皆様ご協力をお願いすることがあります。よろしくお願いいたします。

【2年生】

- ・生活科の究極的な目標は「自立への基礎を養う」ことにあります。様々なことに意欲的に行動し、自信をもって活動できるような励ましをお願いします。
- ・ご家庭においても、学校での体験に再チャレンジできることがあれば、できるだけ多くの体験をさせてください。
- ・町探検、さつまいもの調理、「ひろがれ、わたし」のアルバム作り等、保護者の皆様のご協力をお願いすることがあります。よろしくお願いいたします。



音楽科ではこんな学習をします



学習のねらい

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- (2) リズムに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにします。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽味わって聴くようにします。

育てたい力

聴いたり、
楽譜を見たり
して演奏する

聴唱・聴奏
視唱・視奏

要素を
感じ取り工夫
して表現する

思いをもって

演奏の
仕方を身に
付ける

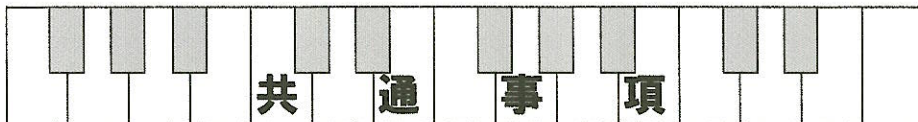
楽曲に合った
表現

音の様々な
特徴に気付く

音遊び

聴いて
よさや楽しさを
感じる

楽曲の構造



学習の進め方

表現

範唱・範奏を聴く ⇄ 演奏 ⇄ 歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現する

自分の歌声や発音に気を付ける

身近な楽器(音)に親しむ ⇄ リズム遊びやせんりつ遊びを楽しむ ⇄

- ・音遊び
- ・約束事を決め、簡単な音楽をつくる

鑑賞

楽曲の気分を感じ取る

リズム・旋律を感じ取る

聴く

音色に気を付ける

〈共通事項〉 ① 音楽を特徴づける要素

② 音楽の仕組み

音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れ、フレーズ
反復、問いと答え

評価のポイント

- ① 範唱や範奏を聴いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったり、楽曲の気分を感じ取って聴いたりしている。
- ② 楽曲の気分や音楽を特徴づけている要素を感じ取りそれらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。
- ③ 音楽に対する興味・関心をもち、進んで音楽活動を楽しもうとする。



ご家庭では下記の点にご協力ください



- ♪ 持ち物の準備をしっかりさせてください。
- ♪ 音について興味・関心をもち、育ててください。
- ♪ 歌や鍵盤ハーモニカの練習をして、音色を出すことの楽しさを味わわせてください。
- ♪ 様々な音楽を聴く機会を増やし、美しい音楽の音色に接して、心を豊かにしてください。

第1・2学年〈図画工作科〉学習案内



図画工作科 ではこんな学習をします



○学習のねらい

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことがねらいです。

○育てたい力

- ①造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにします。
- ②身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにします。
- ③進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。

【使用する材料や用具】

材料・用具		学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
材料	紙・粘土・自然の材料（枝・木の実など）	●	●	●	●	●	●
	木切れ、板材			●	●	●	●
切る	カッター		●	●	●	●	●
	のこぎり				●		●
	糸のこぎり					●	●
つける	のり・化学接着剤	●	●	●	●	●	●
	金づち・釘			●	●		●

【評価のポイント】

「知識・技能」

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができたか。

「思考・判断・表現」

- (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができたか。

「主体的に学習に取り組む態度」

- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養っているか。

ご家庭では以下の点について、特にご協力お願いいたします。

- ・授業中に、クレヨンや絵の具、接着剤等で衣服が汚れてしまう可能性があります。図工のある日は、汚れてもよい服装で登校させてください。
- ・身近な材料（新聞紙、箱、布、容器など）を使用し、授業を行います。図工の学習は材料集めから始まります。また、作品は材料で決まると言っても過言ではありません。学年だよりなどで事前にお知らせしますので準備をお願いします。
- ・子どもたちが持ち帰った作品には、それぞれの思いが込められています。大切に保管してあげてください。
- ・よい作品を見ることで、子どものもつ創造性が広がります。是非、「川口こども造形展」「県展」などの地区の展覧会や美術館等に、ご家族でお出かけください。



体育科ではこんな学習をします



学習のねらい

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てることがねらいです。

育てたい力

- ①その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- ②運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ③運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

第1学年

主な学習内容(変更場合があります)

第2学年

【1学期】

- まとあてゲーム
- 固定施設遊び
- 鬼遊び/体ほぐし
- 多様な動きをつくる運動遊び
- 水遊び
水の中を移動する運動遊び
もぐる・浮く運動遊び

【2学期】

- 表現運動
- マット遊び
- 多様な動きをつくる運動遊び
- 鉄棒遊び
- 幅跳び遊び
- ボール運び遊び

【3学期】

- 多様な動きをつくる運動遊び
「短縄/長縄」
- 跳び箱遊び
- ハードルリレー
- ボールけりゲーム

【1学期】

- 的当てゲーム
- 鉄棒遊び
- ジグザグ走
- 高跳び遊び
- 水遊び
水の中を移動する運動遊び
もぐる・浮く運動遊び

【2学期】

- 表現運動
- マット遊び
- キックベースボール
- 多様な動きをつくる運動遊び
- ハードルリレー
- はしごドッジボール

【3学期】

- 跳び箱遊び
- 多様な動きをつくる運動遊び
「短縄/長縄」
- ボール運びゲーム
- ボールけりゲーム

評価のポイント

- ①知識・技能（運動）
基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けている。
- ②思考・判断・表現
運動やゲームの仕方を考え、工夫している。
- ③主体的に学習に取り組む態度
健康や安全に注意して、だれとでも仲よく、楽しく運動しようとしている。

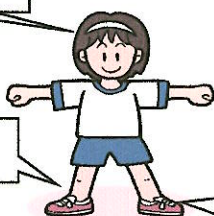
- ①知識・技能（運動）
基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けている。
- ②思考・判断・表現
運動やゲームの仕方を考え、工夫している。
- ③主体的に学習に取り組む態度
健康や安全に注意して、だれとでも仲よく、楽しく運動しようとしている。

ご家庭では下記の点にご協力ください

髪の毛の長い人は
ゴムでしばります。

靴下をはきます。

※ひざが隠れる長さの靴下は安全面からご遠慮ください。



運動に適した靴をはきます。

体育時の服装

- 健康チェック
毎日お子さんの健康状態を観察してください。
※水泳・持久走大会などは押印がない場合はできません。
- 励ましの言葉がけ
温かい励ましにより精一杯取り組む姿勢が生まれます。
- 体育時の上着
上着はトレーナーをお願いします。
※チャック・フード・ボタンがついているものは安全面からご遠慮ください。



道徳ではこんな学習をします



学習のねらい

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。道徳の時間をはじめとして各教科、特別活動それぞれの特質に応じて適切な指導を行います。

道徳の時間には、各教科、特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的な価値の自覚を深め、道徳的实践力を育成します。

教材を活用し、主人公の考え方や生き方について話し合ったり、自分の生活を振り返って考えたりしながら、道徳的価値が自覚できるようにしていきます。話し合いを通して、友だちのよさや自分のよさに気づき自分自身の生き方を豊かにします。

育てたい力

19の内容項目について指導をしますが、本年度の重点目標は、以下の4つです。

- ①健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
- ②幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。
- ③約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。
- ④生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。



学習の進め方・評価のポイント

それぞれの道徳的価値について、教材を通して話し合い、自分自身の在り方について目を向けさせます。考えたことを道徳ノートに書き残します。

道徳の時間では、数値などによる評価は行いません。振り返りカードを活用し、道徳性を次の4つの要素に分け、出来たことや、成長したこと、取り組んで欲しいことなどについて、言葉で評価をします。

＜4つの道徳性＞

- ①「道徳的判断力」
道徳的諸活動の捉え、判断が必要な時児童がどう思考し判断するのか等
- ②「道徳的心情」
児童が価値についてどう考えているか等
- ③「道徳の実践意欲と態度」
よりよく生きようとする意志や行動の表れ等
- ④「道徳の習慣」
基本的生活習慣がどれだけ身につき、実践できているか等

ご家庭でご協力ください

学校では、学校教育目標、道徳教育の重点目標、学年・学級目標を作成し、道徳教育の充実にも努めています。

ご家庭でも「トークの日（毎月19日）」等を活用し、お子様と話し合いをしてください。教材を読み一緒に考えたり、これからどのようなことができるか考えたり、ゆっくりと話をいただけると幸いです。また道徳ノートに書くことで一年間の心の成長の記録となります。ご家庭からのコメントもよろしくお願いいたします。学校とご家庭で連携して世界でたった1冊のノートを作っていきます。

本年度の重点目標を意識しながら、ご家庭でも大人が手本となり、繰り返し取り組んでください。